

ドニゼッティの最期



ドニゼッティの最期の様子。ポンツィアリーニ・ロヴェリーニ ponziano Loverini 作、ドニゼッティ劇場所蔵。

フランスからようやくイタリアに戻ることが出来たドニゼッティは、1847年10月6日、ベルガモのローザ・ロータ Rosa Rota とジョヴァンニーナ・バゾーニ Giovannina Basoni 男爵夫人の屋敷に迎えられた。1848年4月、ドニゼッティが危篤状態に陥った時の様子をバゾーニ男爵の娘のジョヴァンニーナ・バゾーニは次のように記している。『…5日の夜、ふたたび熱がひどくなりました。6日の朝、卵の黄身で栄養を補い、[…]7日、8日、ドニゼッティさんはますます衰えて危篤状態になりました。4月8日午後5時、司祭の介添えと私の母、私、親友のドルチさん、そして献身的な召使に看取られて、彼は息を引き取りました』（マルゲリータ・ティッツィオーニ・デッレ・セーディエ Margherita Tizzioni delle Sedie 宛）